

みなさんは、神奈川県「県の花」は何か知っていますか？本校の昇降口前の植え込みにも咲いていましたが「やまゆり」です。私の父の実家がある中井町の山の中に、子どもころカブトムシやクワガタを取りに行くと、まだ野生のやまゆりがあちらこちらに咲いていて、強い香りを放っていました。

平成 28 年 7 月 26 日、この県の花にちなんで命名された県立の障害者施設「津久井やまゆり園」（相模原市）で痛ましい事件が発生しました。同園の元職員が施設に侵入し、施設の利用者や職員を次々と包丁で刺し、19 人が死亡、27 人が負傷しました。この事件は、障害者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、障害者やその家族、そして多くの方々に大きな衝撃と不安を与えました。

今年も事件のあった日が近づいてきました。神奈川県は「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めて、このような事件が二度と繰り返されないよう、県をあげて取り組んでいます。亡くなった方々にあらためて哀悼の意を表します。

さて、明日から夏季休業（夏休み）に入ります。夏休みはみなさんにとって、人間的に大きく成長するチャンスですね。3 年生は進路選択がいよいよ大詰めを迎えます。私から一言アドバイスしたいのは、自分の能力の「のびしろ」というものを、もっと信じてほしいということです。3 年生の夏休みから秋にかけて身につけた知識や技能は、生涯の財産になるものだし、何よりもこの期間に経験したこと（悲しみや喜び、出会いや別れ等々）が、みなさんが今後の人生で何度も立ち返る資源（リソース）になることは、青年期について研究した様々な本に書かれていることです。

その意味で、この期間は 1 分 1 秒も無駄にできないと思えますが、そこであえて言いたいのは、だからこそ 1 分 1 秒をゆっくりと味わうように生きてほしいということです。negative capability という英語があります。「答えの出ない事態に耐える力」と帯木蓬生という精神科医が訳しています。いくら努力しても成績があがらないとか、どんなに苦しい練習をしても試合に勝てないとか、どうやっても状況をかえることができないなど、そんな事態に直面することはありますよね。

しかし、すぐに成果が上がらなくても、失敗や挫折を繰り返し経験しようとも、皆さんの年代は新たな経験を受け入れることができる力をもっています。それが能力の「のびしろ」であり、negative capability です。

さて、そんな忙しくてつらい時期に、あえてみなさんに勧めたいことは、時には自分のためだけでなく他人のためになること（ボランティアとか）をすることです。能力を向上させるために切磋琢磨を続けていると、感覚が研ぎ澄まされ、視野が狭くなります。（「山月記」の季徴のように。2, 3 年生ならわかりますよね。）夏休み中に 1 日だけでもいいので、自分以外の人のために時間を使う日をつくってみてください。きっと意外な自分に気づくことができると思います。よい夏休みを。